

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日:2023年12月1日

回収率 24/29

事業所名:りんどう

サービス種類:(放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	限られたスペースの中で、いかに安全かつ充実した活動になるかを考えながら療育活動や学習支援を行っている。	はい:16、どちらともいえない:5、いいえ:0、わからない:0	・個室スペースがないため、それに代わるスペース確保を検討する。
	2 職員の適切な配置	児童発達管理責任者1名、保育士1名、児童指導員4名、指導員1名を配置している。	はい:12、どちらともいえない:4、いいえ:0、わからない:2 ・職員数や職員の紹介がない ・どのような資格を持っているのか分からない ・職員の数が足りていないように感じる	職員の資格取得や専門職採用に努める。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	予定やタイムテーブルを所定の場所に張り出し、見通しをもって行動できるようにしている。個別に対応が必要な児童については、個別の情報提供の方法がある。また、構造化を図り個別スペースも設けている。	はい:13、どちらともいえない:5、いいえ:0、わからない:3 ・子どもから何も言わないので分からない	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃、整理整頓、消毒を行っている。	はい:16、どちらともいえない:2、いいえ:0、わからない:3 ・施設内に入ったことがないので分からない ・建物が古いということもありますが、清潔感という観点からは、どちらとも言えません。	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員会議や打ち合わせの時間を使って、各職員からの意見を聞きながら取り組んでいる		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない。		導入を検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	必要に応じて事業所内で研修会を実施したり、法人内や外部の研修にも参加している。		事業所全体としての必須研修や、その他タイムリーな内容で計画的に実施するとともに、個人に必要な研修も適時行っていく。
適切	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6ヶ月毎に保護者との面談を行い、聞き取った内容と職員の意見を総合的に判断し、支援計画の作成を行っている。	はい:20、どちらともいえない:1、いいえ:0、わからない:0 ・よく見てもらっているので、親としても課題が見えやすい	

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
な支援の提供	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	支援計画書には、個別支援と集団支援の項目があり、子どもの状況に応じて計画に組み入れて作成してる。		
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	必要な項目や具体的な支援内容を記載している。		
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画書に沿って支援を行っている。職員会議や日々の打ち合わせ等を利用して、再確認や支援の修正などを行っている。	はい:20、どちらともいえない:1、いいえ:0、わからない:0	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	月間のプログラムを療育担当者が職員会議で提案・協議し、それぞれの療育や外出について担当職員を配置している。担当職員は他職員のアドバイスを受けながら具体的な内容を検討している。事前の打ち合わせでは、目的を再確認し、支援のポイントを押さえて実施している。	はい:19、どちらともいえない:0、いいえ:0、わからない:0 ・利用する曜日がを固定しているため、活動内容も固定化されることが多い。	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	季節の行事や外出などを取り入れながら、マンネリ化にならないようなプログラムの作成を心がけている。また、保護者のニーズに合わせた利用が出来るように可能な範囲で調整している。		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	1ヶ月の平日のプログラムは、運動、療育ゲーム、制作、自立課題、公園遊び等を曜日を決めずにバランスよく配置している(公園遊びは固定)。学校が休みの日は、外出を中心に内容が重ならないように配慮している。		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	当日の打ち合わせでは、目的を再確認し、役割分担や支援のポイントを押さえて実施している。		
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援の振り返り等については、口頭で情報共有し、ケース記録と業務日誌に特記事項や問題点、引継ぎ事項などを記載している。			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	ケース記録に記載し、問題点があれば職員間での情報の共有及び検討・改善を行っている。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヶ月毎に保護者との面談を行い、聞き取った内容と職員の意見を総合的に判断し、必要に応じて支援計画の見直しを行う。	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	要請に応じて積極的に参加している。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて情報共有を行っている。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	該当する利用者はいなかった。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	積極的に参加している。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施できていない。	はい:9、どちらともいえない:2、いいえ:1、わからない:9 ・学童も併用しているので機会はある。 ・放デイを利用している時には、他の児童クラブや児童館との交流、障害のない子どもと一緒に活動する機会はないように見受けられますが、実際のところはわからない。	今後実施に向けて検討する。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施できていない。		
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に口頭及び文章で説明している。また、その都度、口頭や文章、ラインなどを通して伝えている。	はい:21、どちらともいえない:0、いいえ:0、わからない:0	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6ヶ月毎に保護者に来所してもらい支援計画を基に支援内容や児童の様子等を伝えている。保護者の意見や感想、希望等を踏まえて支援計画を作成し、保護者へ説明、了承を得ている。	はい:21、どちらともいえない:0、いいえ:0、わからない:0	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者より相談があった場合は、必要に応じてアドバイスをを行っている。また、専門職による保護者向けの学習会を開催している。	はい:12、どちらともいえない:2、いいえ:3、わからない:4	保護者に対して個別に対応しつつ、保護者向けの学習会を今後も定期的に行っていく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や電話、ラインなど、状況に応じてツールを使い分けて子どもの状況や課題を共有している。また、保護者、学校、事業所(学童や放デイなど)間で共通の連絡帳を利用している子どももいる。	はい:18、どちらともいえない:2、いいえ:0、わからない:1 ・毎回連絡ノートやラインでの写真を送ってくださり、子供の状況がとてもよく分かり嬉しく思います。	一律ではなく個々に応じた方法で行っていく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談の内容に応じて、連絡帳や電話、直接面談などで対応している。	はい:20、どちらともいえない:1、いいえ:0、わからない:0 ・面接で支援してくださっている内容や本人の課題がよく分かるのでありがたいです。	気軽に相談していただける関係づくりに努める。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会は組織されていない。	はい:7、どちらともいえない:2、いいえ:4、わからない:8 ・父母の会の活動がないので分かりません。 ・これからに期待します。	保護者からの要望状況を踏まえて検討していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	窓口職員を保護者に知らせている。直接言いにくい場合は、市の窓口や計画相談などを通じて伝えてもらうようにしている。	はい:15、どちらともいえない:0、いいえ:0、わからない:6 ・そのようなことが今までなかったので分かりません。 ・(子どもが)苦情を言うことがないため分かりません。	苦情があった場合は、速やかに対応する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	口頭での伝達が難しい子どもに対しては、視覚支援(スケジュールの作成や絵カードの使用)を行っている。保護者については、文章やライン、電話や直接会って伝えるなど、個々に合わせて手段を選んでいる。	はい:20、どちらともいえない:1、いいえ:0、わからない:0	情報伝達方法について、子どもや保護者のニーズを把握していく必要がある。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月、療育予定表や利用中の様子を記した状況報告書の作成を行い配布している。定期的な会報等は必要と感じているが発行できていない。	はい:11、どちらともいえない:3、いいえ:0、わからない:7 ・特に会報はなく、ホームページ等の活動概要のお知らせはないが、個人の連絡帳には活動内容は記載されています。	会報の発行については、今後の検討課題。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	保護者からは個人情報の取り扱いの同意書を得ている。個人情報に関するファイルについては、鍵のかかる書棚で保管。また、PCについては、暗証番号を設けて管理している。	はい:18、どちらともいえない:0、いいえ:0、わからない:3	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルの作成は行っているが、周知徹底については不十分。	はい:17、どちらともいえない:1、いいえ:0、わからない:3	周知に努める。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的(6ヶ月に1回)に訓練を実施し、その後子ども、職員共に振り返りを行っている。救出の訓練については実施できていない。	はい:11、どちらともいえない:1、いいえ:0、わからない:9 ・どのようなことをしているのか分かりません。	保護者に対して訓練内容を知らせる必要がある。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	虐待防止研修を実施し、適切な対応を心掛けている。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	今のところは身体拘束を行うことはない。今後必要があれば、取り組みを徹底していく。また事前に研修を実施し理解を深めていく。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善 目標・内容
5	食物アレルギーのある子どもに対する 医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーの子どもに対しては、保 護者からの報告で対応しており、医師の 指示所には基づいていない。		
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内 での共有の徹底	ヒヤリハット報告書を作成し、職員会議で 対応策を検討し事業所内で共有してい る。		